

2 主要な事業の状況

(1) 大竹を愛する人づくり

新

第五次総合計画普及事業

⇒ 1,600千円

(担当: 企画財政課)

平成23年度からの「わがまちプラン」(第五次大竹市総合計画)を冊子にします。

わがまちプランの基本理念「自分たちのまちは自分たちで作る」や、大竹市が目指す「よいまち」についてなど、わかりやすく親しみやすい概要版を作成し、全戸配布するとともに、今後、小学校の教材としても使用する予定です。

新

小方小学校・小方中学校移転改築事業

⇒ 1,346,769千円

(担当: 総務学事課)

老朽化が進み、耐震性能についても補強が必要であるとの診断がされている小方小学校・小方中学校を、岩国大竹道路の整備予定地や交通量の多い国道2号に近接している現在地から、教育環境に適した大願寺地区造成地に移転し、小中一貫教育を見据えた施設一体型の学校として整備します。平成23年度から平成24年度にかけて整備を行います。(※「平成23年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください)

拡充

子育て支援事業

⇒ 350千円

(担当: 生涯学習課)

こそだて塾「ひよこルーム」やリトミック、キッズピクスなど子育て支援の事業を充実して行います。

また、社会教育の立場から「家庭」や「地域社会」の教育力の向上に取り組むため、社会教育部門・福祉部門・幼稚園・NPO等の関係者の意見交換の場を設定します。子育てに関する情報や問題点を共通に認識し、課題解決に向けたプログラムを構築していきます。

21世紀を担う人づくり事業

⇒ 1,990千円

(担当: 生涯学習課)

中学生を対象として、平和学習・社会体験・大竹市再発見などさまざまな体験活動を通して、大竹市の宝になりうる次世代を担う青少年の育成を目指します。

市民文化講演会

⇒ 1,120千円

(担当: 生涯学習課)

現代社会における課題や大竹市がかかえる課題に即した内容を選択し、それに適した講師を招いて講演会を行います。講演会を通じて、市民のみなさんが大竹に関心を持っていただくことで、今後のまちづくりに繋がる講演会にしていきます。

山・海・島体験活動推進事業

⇒ 589千円

(担当:総務学事課)

児童の豊かな心と生きる力をはぐくむことを目的として、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験等のさまざまな体験活動を実施します。平成23年度は、玖波小学校の5年生を対象として宿泊研修を行います。

特別支援教育推進事業

⇒ 13,941千円

(担当:総務学事課)

障害のある小学校・中学校の児童生徒に対して、学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障害の児童生徒に対してさまざまな場面で適切に支援することができるよう、支援員の配置等を行うことにより特別支援教育の推進を図ります。

また、教職員を対象に特別支援教育に関する研修を実施し、特別支援教育の理解を深めます。

こども相談室運営事業

⇒ 9,298千円

(担当:総務学事課)

家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。

放課後児童クラブ事業(放課後子どもプラン)

⇒ 33,824千円

(担当:生涯学習課)

保護者が労働等で昼間家庭にいない児童について、保護者が安心して働けるよう、市内3ヶ所の「放課後児童クラブ」において授業の終了後に遊びや生活指導を行い、健全な育成を図ります。

放課後子ども教室事業(放課後子どもプラン)

⇒ 4,200千円

(担当:生涯学習課)

次世代育成支援事業として、地域や各団体・企業などと連携を図り、「放課後子ども教室」を開催します。地域の方々に協力していただき、放課後や週末などを利用して学習機会や体験活動の場を提供します。